

第2学年2組 学級活動（2）指導案

1 題材 本のさがし方を考えよう（学級活動（2）-オ）

2 本題材の指導の立場

（1）児童の実態

本学級の子どもたちは、読書が好きで、休み時間や国語の学習で図書館を進んで利用し、本を読むことを楽しんでいる姿が見られる。また、学校で読んでほしい「おすすめの本」を読む姿も見られる。しかし、その一方であまり本を読まない子の姿も見られる。読まない子たちの様子を見ると、どんな本を読んでいいのか決められなかったり、読みたい本を探すことができなったりする傾向がある。そこで、自分の力で本や文章を読むことができるようになり、本を読むことが楽しいと思えるこの期に、本題材を取り上げる。そして、読んでみたいという本を自ら探すことができ、意欲的に読み進めていけるようにしたい。このことは、「読書センター」としてだけでなく、「学習・情報センター」として学校図書館を活用していく子どもを育てるとともに、自分の考えを主体的に表現する子どもを育成する上からも意義深い。

（2）教材の価値

本題材は、図書館における本の並べ方の工夫（種類ごと・作者ごと等）を理解する活動を通して、すべての児童が、自分が読んでみたいと思える本を探し出し、様々な本を読んでいこうとする実践力を身につけることをねらいとしている。図書館の本の並べ方の工夫を見つける活動は、いろんな種類の本にたくさん出会う機会を増やすことにつながり、読んでみようとする意欲の向上や、図書館をもっと利用したいとする態度を育てることに適した題材である。

この題材の学習は、図書館には本の区分ごとに分けられて配置されている工夫があることを見つけたり、「日本十進分類法」の仕組みを探ったりする第3学年の学習へ発展していく。

（3）指導の構え

本題材で取り上げる活動は、自ら読みたい本を選択し探し出すことで、本を読むことが楽しいと感じ、図書館を進んで利用しようとする子どもたちを育てるために適した活動であると考えられる。

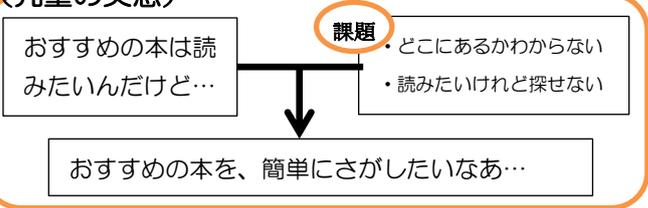
本題材では、事前の学習において、読書ノートを見直したり、読書に関するアンケート調査を行ったりして実態を把握するとともに、課題を明確にしておく。本時では、まず、「つかむ」段階で読書ノートやアンケート調査の結果より、おすすめの本を読み終えていないという課題をつかみ、本のならべ方のひみつを見つけ、おすすめの本を探し出すというめあてをつかませる。次に、「つくる」段階で図書館を歩き回り、どのような本がどのようにならべられているのか見つけさせ、見つけたひみつを話し合わせる。そして、「みがく」段階で、見つけたならべ方のひみつをもとに、おすすめの本を探させる。最後に「生かす」段階で、おすすめの本の探し方を自己決定させる。事後には、自己決定したことを実践できるよう、読書ノートを使い評価していく。おすすめの本を読み進めている姿が見られるときには賞賛し、本を進んで読もうとする意欲を高めていく。

特に、本題材では、実際に図書館を歩き回って工夫を見つける活動や、司書の先生の話聞くことで、意欲的に図書館の工夫を見つけ、今後の生活につなげられるよう、学校図書館の活用を図る。

3 目標

- おすすめの本を見つけだして読みたいという思いをもって、図書館の本の並べ方に関心をもち、進んで図書館を利用しようとする態度を養う。 【関心・意欲・態度】
- 図書館には、利用しやすい工夫があることを知り、自ら読んでみたい本を探すために、学んだことを生かして探してみようとする実践することができる。 【思考・判断・実践】
- 本の並べ方の工夫（種類ごと・作者ごと等）を理解することができる。 【知識・理解】

7 本時の展開(45分)

段階	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時学習のめあてを確認する。 (児童の実態)</p> 	<p>○ 今まで「おすすめの本」をどれくらい読んでいるのか確認させ、アンケートをもとに、「おすすめの本」を探ることができていないという課題を明確にし、めあてをつかませる。</p>
つくるみる	<p>本の並べ方のひみつを見つける。</p> <p>(1) 館内を歩き回り、白地図〈資料1〉にひみつを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> この場所には、物語があるね。あそこには、スポーツの本があるよ。【分類】 物語は、作者ごとに並んでいるよ。【仲間】 図鑑やスポーツは、種類ごとに並んであるよ。 <p>(2) 見つけたひみつを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本の分類によって、置かれている場所がちがうよ 仲間ごとに整理されて並んであったよ。(作者ごと・種類ごと) <p>(3) 学校司書の話聞いて、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語やスポーツ、歴史の本や図鑑など、本はジャンルごとに置かれているよ。 物語では作者ごとに、図鑑やスポーツでは種類ごとに並べているよ。 <p>3 一人1枚、おすすめの本マップ〈資料2〉を受け取り、その本を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> マップの裏にある白地図を見て、置かれてそうな場所に向かおう。 作者の名前を確かめるといいんだね。 種類に分けられているので…。 	<p>○ 図書館で学習を行うことで、本の並べ方のひみつを見つけられるようにする。</p> <p>○本の仲間(種類・作者)に気づくことができるように、白地図に、見つけた本の題名や置かれているジャンルを書けるようにしておく。</p> <p>○ 拡大した白地図に、子どもの気づきを書き込み、2年2組の図書館マップを作ることで、本は、分類ごとにおかれており、仲間に分けて(種類・作者)ならべられていることを理解させることができるようにする。</p> <p>○ 学校司書の話聞くことで、自分たちが見つけたひみつをより確かなものにしていく。</p> <p>○ 探すことが難しい子には、マップの裏を見て、その場所まで向かい、実際に本を探ることができるようにする。</p>
生かす	<p>4 おすすめの本の探し方を自己決定する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シートン動物記」は、図鑑の場所に向かっていき、動物の種類から探します。 「キミはもっと速く走れる」はスポーツだから、そこまでいこう。 「きんいろのとけい」は、絵本だからろう下側にあるね。作者は、かたやまさんだよ。「か」のところにきっとあるね。 	<p>○ 自分の言葉で自己決定ができるように、おすすめの本のリストの中に本の仲間(作者・種類)が分かる項を設けておく。</p> <p>※ 学習したことを生かし、おすすめの本を探しだし、読むことができています。</p>